

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	平成30年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会
開催日時	平成30年7月24日(火) 午後2時から3時24分まで
開催場所	加東市東条公民館研修室
<p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>(出席委員8人) 廣畑 貞一 澤井 英昭 西山 芳博 田中 良宣 藤原 文子 長尾 きみよ 橋本 匡史 山田 ゆかり</p> <p>(欠席委員0人)</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>加東市社会福祉協議会(指定管理者) 会長 吉村 進吾 事務局長 近澤 孝則 主任 前田 恵</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>加東市長 安田 正義 健康福祉部長 丸山 芳泰 福祉総務課 課長 大西 祥隆 副課長 松末 久美 主査 長濱 泰栄</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>1 協議事項等</p> <p>(1) 会長、副会長の選出について (2) 再開後の運営状況について (3) 今後の取り組みについて (4) その他</p> <p>2 会議資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名簿 ・資料No.1 運営状況報告書(営業再開後) ・資料No.2 東条公民館の解体工事等について ・資料No.3 加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会規則 <p>3 会議の経過</p> <p>別紙のとおり</p>	

平成30年 9月3日

署名人



(別紙) 平成30年度第1回加東市東条福祉センター「とどろき荘」運営審議会の経過

1. 開会
2. あいさつ
3. 協議事項等

(1) 会長、副会長の選出について

会長に廣畑貞一委員、副会長に藤原文子委員を選出

(2) 再開後の運営状況・(3) 今後の取り組みについて (一括協議)

発言者	会議の経過/発言内容
指定管理者	<資料に基づき再開後の運営状況及び今後の取り組みの説明を行う>
委員	3月にリニューアルして、利用人数が思わしくないということであるが、加東市周辺の利用が減ったとか利用が落ち込んだ地域といった情報は何か具体的に持っているのか。
指定管理者	現在、市内と市外の利用状況は、市外50%、市内50%で、9カ月間休業する間に体調が悪くなって来られなくなった常連の方も数人ある。 また、9カ月間の休館中に他の施設へ行く習慣がついて、とどろき荘に足を運ばなくなったという方も中にはいるようである。
委員	いろいろな角度で考えていかなければ、なかなか利用客を呼べないのは事実である。あれもない、これもないから客が来ないじゃなくて、逆の発想で、何もないということのを売りにするのも一つの例ではないか。 それから、入浴者増加の取り組みが1から12までであるが、はっきり言ってこれはみんな他のイベントの真似である。別の価値を高めるという発想の方がいいのではないか。リピーターによる口コミで広げるなどの戦略も立てないと厳しいのではないかとも思う。いろいろなアイデアを委員の皆さんから出してもらうほか、日頃いろんな方と関わる中でアイデアを聞き、それをここで出してもらうことで活性化につながるのではないかと思う。
委員	赤字が330万円あって、7万人利用するとしたら、1人当たりになると50円程度になる。 それを、高齢者や弱者に対する補助金だと思えば、市として大きな支出と捉えるのか。市としては黒字になれば越したことはないが、1人当たり1回50円程度の負担なら協力してほしいという議論なのか。入浴者を増やさないといけないのはわかるが、その持ち出しを審議会の中で大きな負担だと捉えるのか、そうではないかということがわからない。 収支を改善しないといけないということはよくわかる。ただ、福祉全体の費用の中で、潰さなければいけないというほど大きな負担であるのか。その考え方を説明してほしい。
事務局	もともとの考え方として運営審議会に諮ってきたのは、7万人を目標として、3,200万円の収益があれば、今試算している330万円の赤字が出ない。7万人を目標とし、市民の皆様にも説明して、この工事を行ったという経緯がある。 今、見込みで330万円程度の赤字が出てくるということに関して、これを多いと見るのか少ないと見るのかという話ではあるが、まずは示した目標に向かって努力しようというのが現状である。 それから、最終的に赤字がこの通り出たとすると、5年間はその補填を市がするというのをこれまでの運営審議会、市議会等にも説明している。 その上で、これは審議会の皆様と議会にも諮っていないといけな

	<p>いことであるが、1,000万円、2,000万円と赤字が増えた場合に、それを不当な赤字だと判断し、温泉部門を閉めなければいけないのかどうか。赤字が出た場合には、それが高いのか、安いのかという判断をしていただくのがこの審議会でもあるので、市としては、まずそういうことを諮らなくていいように、目標に向かって取り組みたい。</p>
委員	<p>5年後にまた議論になるということか。</p>
事務局	<p>5年間ではあるが、3年程度までの実績で判断していただくことになると思う。</p>
委員	<p>複合施設なので、協力しながらイベントや入浴者増加につながる取り組みができれば良いと思う。</p> <p>公民館も年間通していろんな事業があるので、何か一緒にできる機会があれば良いと思う。イベントの際に施設を活用するなど、お互い協力してできれば集客にもつながるのではないかと。</p> <p>公民館事業の際も、とどろき荘に来てくださいといった声かけをするなど、所管部署は違っても、お互いに協力できれば良い。</p>
委員	<p>公民館ととどろき荘の事務所は同じ所にある。経営者ならまず考えるのは、事務所の統合である。組織は違うが事務所を統合できれば、人件費は下がる。</p>
指定管理者	<p>公民館の事務所ととどろき荘の事務所が1階の玄関に入って右手の1つの同じ所にあるということで、3月以降、お互いに協力しながら運営できている。一緒になった効果は出ているのではないかと考えている。</p> <p>公民館の職員は実質2人である。社協の職員が2人いて、とどろき荘関係の職員が3、4人。これ以上人員を削減するのは難しい。</p> <p>公民館の職員が留守の際、とどろき荘の職員がカバーしている。</p> <p>人件費を削減するのではなく、350万円を単価600円で割ると5,833人分になる。これを1日換算すると16人なので、いかにその入浴者数を増やすかの努力に向けるほうが良いのではないかと考えている。</p>
委員	<p>お食事とお風呂はセットという感覚がある。テナントの店は、和食がメインであるが、メニューを変えられないのか。</p> <p>年配の方も多いため和食も良いとは思いますが、女性が喜ぶようなものがあっても良いのでは。</p> <p>ほかの人からも、和食ばかりで遠のくということを知ったことがある。とどろき荘が潤ったら一緒に多少は潤うと思うので、もうちょっと話し合いなどできないのか。</p> <p>他の施設で食事と一緒に運営しているところは、持ち帰りや入浴客への割引をしているところもある。そういうのがあれば、若い方とか女性が来るのではないかと。</p> <p>また、兵教大も近くにある。バスを運行したら幾らでも行くし、協力はするとの話を大学からいただいたことがあるので、兵教大も巻き込んだらどうか。</p>
事務局	<p>テナントに入る際に、軽食・喫茶ができるか打診したが、経営が成り立たないので、今までどおりにしたとのことであった。</p>
委員	<p>規模を縮小したコンパクトな運営という前提で運営しており頑張っているように思うが、一方、利用者のニーズや改修した効果を感じられていない。そのギャップを埋めないといけないと思う。温泉として良いところをもう少しPRして、他の温泉との競争に負けないようなものを出せたらいいのではないかと。</p> <p>審議会の中でどういう議論をするのか、今までもこういう議論を何度もしているが、まず、今までの結果の報告や3カ月間のキャンペーン等の効果をきちんと数字的に見せてもらわないといけない。ター</p>

	<p>ゲットはどのエリアから来たのか、過去どうであって、どう減ってきたのか、改善すべきところを改善してリピート客を増やすのか、一旦逃げた人をまた呼び戻すのか、全く新しい人を外から呼んでくるのか、といったことをはっきりさせておかないと、ターゲットもない中で皆さんからアイデアをくださいと言われても基本的な情報を持っておかないと難しい論議だと思う。</p> <p>審議会の中で今までも集客施策はいろいろと議論したけれども、実績とどういう結果であったかのフィードバックもない。やはり審議会は基本的に物事を考えるより、実行されたことを審議してどうだったかということの掌握していくところで、イベントや集客するための施策を考える会ではないのではないかな。もっとしっかりと集客しなさいと言っていないといけない、逆の立場だと思う。</p> <p>新規客を集めるということに対してはアイデアを考えないといけな。とどろき荘のいいところや魅力をつくらないといけなという話になると、やはり泉質を一番にもっとPRすべきではないか。肌がいいというのも一つの大きな効果であるし、逆に、今暑いから夏の温泉を売る。熱いお湯とぬるいお湯の2種類あるし、温泉ソムリエの資格を持っているスタッフもいる。やはり泉質の良さや、夏場、熱い温泉に入り、自律神経を刺激して、健康な汗をかこうというように健康面をPRするのは社会福祉という観点としても一番ここに合っているのではないかなと思う。</p> <p>やはりとどろき荘の位置づけは健康。ここに来て健康になる、お年寄りも若い人も子供もそれを目指していくような温泉をつくっていくのが一番合っているのではないかなと思う。何かテーマをしっかりとつくってターゲットを含めてエリアを絞って広告を出していくといった情報発信が大切である。</p> <p>だから、12の項目をやるだけでも大変なことなので、これをやりながら取組みの情報、結果に対する報告をしてもらい、それに対して次の手を、もっとアイデアを出していけばいいと思う。</p>
委員	<p>言われたように何か一つこれという売り、特色をつくる。あれもこれも、イベントもという捉え方じゃなく、何か特色をぽんと打ち出してどこにもない売りを、逆に言えば何もないのを売りにするというような捉え方から進めていけばいいのではないかな。今、健康というのは重視されているから健康を、そのためには何が必要なのかというようなことから発想していけばいいと思う。</p> <p>それから、ここにはいいステージがあるので、ステージ貸しをしたらいと思う。京阪神で、まだ名の売れてない劇団などがステージを借りるのに多額の費用がかかるので、使っていない時は、無料でステージを使用させて、そのかわり、練習が終わったらお客さんに劇を見せるという条件にすれば、いくらでも貸してほしい、となる。</p> <p>それから日帰りもできるとホームページに出ているが、日帰り温泉という項目の中にアクセスがない。こういう小さな改善も、必要だと思う。</p>
委員	とどろき荘という名前の由来は？
指定管理者	玄関にとどろき荘にまつわる歌が書いてあり、その中に「とどろきの～」という一文があるのでそこからとどろき荘という名前がついたということは聞いている。
委員	有名な方の詩なのか？
指定管理者	東条地域では有名な書道家である。

委員	ホールを使って芸能コンテストなどしてはと考えている。とどろき大賞を計画していこうと思っているが、とどろきという言葉は特に意味はないのか。
指定管理者	川がとどろくように流れているということ、東条川が前に流れていることから「とどろきの～」という歌の文句があり、そこからとどろき荘という名前がついたというのは聞いている。
委員	多目的ホールの利用料は、会議室等公民館の利用も入るのか。
指定管理者	多目的ホールのみ利用状況である。会議室等は公民館の利用料になる。
委員	指定管理料の中には入るのか。
指定管理者	入らない。多目的ホールだけである。
委員	多目的ホールの利用状況は。
指定管理者	多目的ホールは、4月から6月まで合計86件の利用がある。うち、58件、およそ67%を減免している。
委員	減免されているのはどういう団体なのか。
指定管理者	東条公民館の大会議室を今まで使われていたサークルがほとんどである。
委員	建て替える時に減免を引き継いだということか。どこが減免されているのか公にする必要があるのでは。それだけ地域福祉に貢献する団体なのか。そうでないと、67%も減免しては有料で貸している意味がなくなるのでは。経緯があるなら仕方ないが。1日フルで使ったら2万円ぐらいになる。300人に貸したら600万円、とんでもない額で、300万円浮いてくる。そういう計算もできるが、市の判断なので社協には判断できないのか。
事務局	公民館がなくなるということで、大ホールをこれまで利用されていた方にこちらの多目的ホールを利用していただくという考え方ですので、いきなりこれまでと180度転換してお金をいただくというのはいかない。
委員	回転率としてはまだ余裕はあるのか。減免・有料問わず埋まっているのか。
指定管理者	毎月、およそ30件程度申し込みがあるので、1日1件ぐらいのペースである。全面ではなく半面の使用が一番多い。

(4) その他

事務局	<p>とどろき荘の隣の旧東条公民館の解体工事を今年度計画している。現時点で、その解体工事を12月ごろから開始すると見込んでおり、まだ業者は決まっていないが、工事の間、調整しながら駐車場の確保を進めたいというのが1点。</p> <p>それからもう1点、源泉処理施設があり、この施設の地下から温泉が湧き出ている。メタンガスの処理をしてとどろき荘の施設内に温泉を送る大元の施設であるが、解体工事と駐車場用地の返還にかかる工事と合わせて、若干場所を移動させる必要が出てきた。</p> <p>そのため、まだ時期は工事期間との調整になるが、今のところ1週間程度お湯が出せないという時期が発生しそうで、まだ詳しくは申し上げられないが、今年度そういうことがあるということをお場で事前にお伝えしておきます。</p>
-----	--